

# 国指定史跡 郡山城跡

①本丸及び櫓台



元就による拡張後の中心地。城主の屋敷があったと思われる、北端の山頂部には櫓台が残る

②三の丸の石塁



中心部は輝元時代の改修により整備され、三の丸は石塁により3つに区切られている

③三の丸下通路の石垣跡



石が散乱しているが、三の丸に入る大手道に当たり、僅かに立石も残る

④釣井の壇の井戸跡



現在は枯れているが、城内に残る石組の井戸としては唯一のもの

⑤姫の丸 (百万一心石伝承地)



本丸の北の要所。幕末に長州藩士武田泰信がこの郭で百万一心石を発見したと伝わる

⑥御蔵屋敷跡



勢溜の壇と釣井の壇を繋ぐ郭。幕末により江戸初期に崩された石垣がそのまま残る

⑦満願寺跡の石組の池跡



築城以前から存在する寺院跡。2ヶ所ある石組の方形の蓮池や寺の礎石などが残る

⑧尾崎丸の堀切



尾崎丸は隆元が本城から移り住んだと伝わる。長大な郭の背後を堀切っている

⑨本城の本丸



西端に櫓台があり、背後は谷を堀切っている。築城時の中心で、一時隆元が居住した



- 凡例
- 旧道 (Red dashed line)
  - 登城ルート (Purple solid line)
  - 展望ポイント (Camera icon)
  - 駐車場 (P icon)
  - お手洗い (WC icon)

